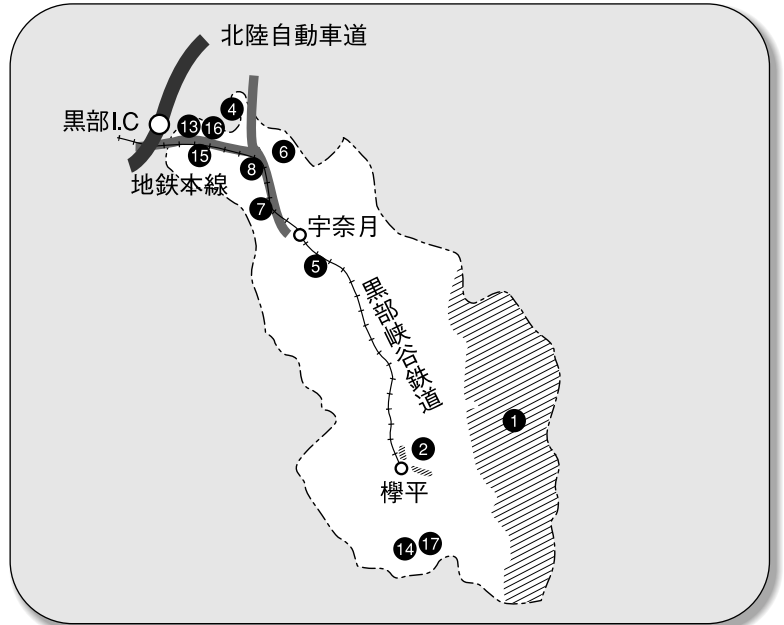


宇奈月町の文化財

 No.
15

1 宇奈月町の文化財の特徴

宇奈月町の中心を流れる黒部川により、宇奈月町の文化財には自然豊かな特徴があります。植物学的には白馬連山植物帯に貴重な植物があり、地形学的には急激な地殻変動と黒部川の浸食によって形成されたV字型の日本一深い谷である黒部峡谷が挙げられ、地質学的には国内でも珍しい十字石が挙げられます。貴重なものが多い一方、実際に見学しにくい場所にある文化財が多いことも宇奈月町の文化財の特徴といえます。



宇奈月町記念物地図

2 記念物見て歩きガイド



「黒部峡谷附猿飛ならびに奥鐘山」

黒部峡谷鉄道の終点樺平から約30分ほど下流へ歩くと、急に峡谷が狭くなっているところがあり、猿飛峡と呼ばれています。また奥鐘山は上部軌道に通じるエレベーターに乗って展望台へでると右手前方にあり、約700メートルもの高さの一枚岩です。黒部峡谷には学術的に貴重な自然が残されています。

「明日の稚児舞」

明日地区の男児4名によって舞われる約300年昔から伝わる古風で素朴な舞です。昔は女児4名も加わっていましたが、池に住む大蛇が女児を連れ去って以来男児のみになったという伝説があります。稚児舞が行われる4月18日には法福寺の境内の桜も満開となり、典雅な舞と相まって訪れる人々の目を楽しませてくれます。



「愛本のウラジロガシ」

愛本橋の左岸上流側にウラジロガシの林があります。ウラジロガシは葉の裏側が白く、暖かい地域に生育する常緑樹です。黒部川の断崖を覆うようにウラジロガシの大木9本が繁っていますが、川の横で風が強く、岸壁の割れ目に根を張っているという点で学術的に貴重です。



「愛本新用水天満宮松明祭」

愛本新一帯は「ひばり野」と呼ばれ、田畑を開くにも水がなく、村人たちは貧しく暮らしていました。当時の村長にあたる伊東彦四郎が加賀藩主に用水を造ることを願い出て、完成させました。村人たちは水の流れてくるのを待ちきれず、手に手に松明を持って水を迎えに行き、流れに沿って走ったのがこの祭りの始まりです。毎年10月5日に行われています。



3 宇奈月町の文化財一覧

番号	指定別	種別	名称	員数	所在地	所有者又は管理者	指定月日
1	国	特別天然記念物	白馬連山高山植物帯		朝日町・宇奈月町	農林水産省	昭27.3.29
2	〃	特別名勝特別天然記念物	黒部峡谷附猿飛ならびに奥鐘山		中新川郡立山町 下新川郡宇奈月町	〃	昭39.7.10
3	〃	無形民俗文化財	越中の稚児舞		宇奈月町 明日836	明日稚児舞保存会	昭57.1.14
4	県	史跡	愛本新遺跡		〃 愛本新274	宇奈月町	昭45.12.19
5	〃	天然記念物	内山のとちの森		〃 字大尾5974-1	米沢 一	昭40.1.1
6	〃	〃	明日の大桜		〃 明日836	法福寺	〃
7	〃	〃	宇奈月の十字石		〃 小谷イシワ谷深谷	宇奈月町	〃
8	〃	〃	愛本のウラジロガシ林		〃 愛本橋爪西(西宮林)	農林水産省	昭42.9.26
9	町	工芸品	千光寺の阿弥陀如来立像	1軀	〃 明日688	千光寺	昭36.12.26
10	〃	古文書仏画	法福寺古文書・仏画		〃 〃 836	法福寺	昭49.6.12
11	〃	歴史資料	松儀家所蔵加賀藩主拝領品		古文書工芸品館 〃 下立682(宇奈月町歴史民俗資料館)	宇奈月町	平9.2.28
12	〃	無形民俗文化財	愛本新用水天満宮松明祭	1	〃 愛本新	松明祭保存会	昭56.1.10
13	〃	史跡	明教院釈僧鎔慶曳の碑	1	〃 浦山497	善巧寺	昭36.12.26
14	〃	〃	仙人岩屋・石仏	2	〃 黒部奥山国有林	農林水産省	昭46.9.1
15	〃	〃	浦山寺蔵遺跡		〃 氷解・寺沢・山越割・寺蔵	宇奈月町	平13.2.12
16	〃	天然記念物	月訪の桜	1	〃 浦山1950	浦山財産区	昭36.12.26
17	〃	〃	仙人岩屋のヒカリゴケ	1	〃 黒部奥山国有林	農林水産省	昭60.5.1

4 問い合わせ先等

宇奈月町教育委員会生涯学習係

TEL 0765-65-0211 (代表)